



仙台国際音楽コンクールニュース

# コンチェルト Concerto



ピアノ部門：2019.5.25（土）～6.9（日）  
ヴァイオリン部門：2019.6.15（土）～6.30（日）

（2019.5.31 発行 第7回コンクール関連 第5号）

## 本選インタビュー特集

### コンクール出場者に聞いてみました!! ピアノ部門編

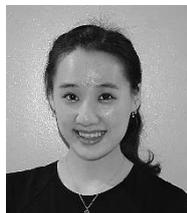
- ①このコンクールを受けようと思ったきっかけは何ですか？
- ②音楽以外に興味があることは何ですか？
- ③ファイナルで選んだ協奏曲は何ですか？選んだ理由は？

#### 13 廣田 響子さん 日本 1993年生



- ① 国際コンクールを受けるには力量が足りないんじゃないかと思い込んでいた自分が、真剣に何かを取り組むきっかけとして仙台を選びました。自分の演奏を聴いてもらいたいという気持ちもありました。
- ② 今、住んでいるザルツブルグでは、夜7時以降、音が出せない環境があるので、夜な夜な料理をするのが趣味になりました。手を怪我することもあるので、悩んでいます（笑）。あと、読書や散歩も好きです。
- ③ ブラームスの1番です。私はクラウディオ・アラウの孫弟子で、彼が弾いたこの曲の録音が私の心を最も動かすものでした。そこから憧れが続いて、今では弾いても、聴いても一番好きな曲なので、この曲に決めました。

#### 43 ユン・ジェナ・ジヒョンさん 韓国 1999年生



- ① チャレンジがいのあるコンクールなので、受けたいと思いました。
- ② 特別な趣味はありません。気晴らしは寝ることでしょうか（笑）
- ③ プロコフィエフの3番です。激しくて、力強いところが好きで、子供の時からずっと聴いてきました。そして、疲れた時などに、この曲を聴いて励まされてきたので、これを選びました。

#### 32 ダリア・パルホーメンコさん ロシア 1991年生



- ① 日本が大好きです。昨年、高松国際ピアノコンクールに参加しました。その後、日本にコンタクトを取ったり、友人に教えられたりして、日本にはもっと多くのコンクールがあり、演奏の機会も沢山あることを知りました。だから、日本のコンクールを受けて、また日本に来たいと思ったのです。予選で色々な曲にチャレンジしたいと思い、有名ではありませんが、オーストラリアのヴァインの曲を選んでみました。
- ② 散歩、読書、ビリヤードをやります。また、ラテンダンスをすると、とてもリラックスできます。クラシック以外のコンサート、例えばジャズのライブにもよく行きます。
- ③ チャイコフスキーの1番を選びました。私の故郷であるロシア音楽の中でも大好きな曲です。チャイコフスキーはラフマニノフの様にピアノの曲を沢山作った訳ではありませんが、この曲はロシアの魂や民族性を最もよく表していると思います。

#### 39 ステファニー・タンさん アメリカ 1994年生



- ① とても格式のあるコンクールで、これまでの入賞者の方たちの活躍を見て、自分も続けたいと思いました。また、これまで培ってきた私の音楽を仙台の皆様の前で表現したいという気持ちがありました。
- ② 音楽の合間にヨガをやったりしています。いくらやっても、なかなか体が柔軟にならないのですが（笑）。去年はカリグラフィーにはまっていました。読書も好きです。
- ③ ブラームスの1番です。私はこの曲が大好きで、小さい頃聴いたこの曲の録音に感動して以来、ずっと心の中から離れず、12歳のころからずっとこの曲を弾きたいと思ってきました。

#### 7 ライアン・ドラッカーさん イギリス 1993年生



- ① 課題曲の構成に惹かれました。予選から40分も持ち時間がありますし。更に、組織・運営も素晴らしいコンクールなので受けてみようと思いました。
- ② 読書が好きで、歴史物から政治的な物まで幅広く異なったジャンルの本を読むのがとても良い気分転換になります。また、ジムで体を動かすのも好きです。
- ③ チャイコフスキーの1番です。これは小さな頃から憧れの曲、チャイコフスキーの代表作のひとつで、これまで演奏したこともあります。弾いていて楽しくピアノとオーケストラの絶妙な掛け合いも魅力なので。

### 15 チョン・ヨンファンさん 韓国 1991年生

- ① 父の仕事の関係で東京生まれなので、日本で行われるコンクールで演奏してみたいと思いました。今日は、日本で働いている父も聴きに来てくれています。仙台に来るのは初めてです。
- ② 演奏の他に、自分で作曲をします。それから、今留学しているオーストリアのザルツブルグのきれいな街を、よく一人で散歩します。
- ③ ベートーヴェンの5番「皇帝」です。ベートーヴェンは特に好きな作曲家で、予選のソナタに始まり、セミファイナル、ファイナルと3曲選びました。この日本で、私が好きな作曲家の曲を演奏してみたいです。



### 40 ワン・シンランさん 中国 1995年生

- ① 子供の頃からコンクールに出るためにレッスンを重ねてきて、今年が出場するタイミングだと思い、申し込みました。
- ② 旅行が好きで、たくさん旅をしています。去年の夏はノルウェーの辺りに冰山を見に行きました。運転が好きなので、基本的に旅行では自分で運転しています。
- ③ ラフマニノフの2番です。コンチェルトのレパートリーはあまり多くないなか、自分が弾ける曲はこれだ！と思って選びました。ラフマニノフの豊かな色彩感、美しいサウンドやハーモニーがとても好きだからです。



### 28 ジョスカン・オタルさん フランス 1992年生

- ① 前回出場した友達から聞いて、予選がフリーリサイタル形式、セミファイナル以降のオーケストラとの共演で計3曲のコンチェルトが弾けるのは良い経験となると思いました。
- ② 旅行が大好きで、今回の初来日にとってもわくわくしています。その他、チェスをしたり、読書、映画を観るのも好きです。
- ③ プロコフィエフの3番です。この曲は演奏経験もあり、素晴らしい書法で作曲されています。光が溢れるイメージがあって、私の最も好きな曲のひとつなので選びました。



### 23 ラファエル・リープシュタインさん

ドイツ/アルゼンチン 1995年生

- ① ホール、ピアノ、聴衆、審査委員全てが素晴らしいコンクールだからです。日本、そして日本の皆さんが大好きだからです。
- ② 小さい頃はサッカーをしていました。今は友人と遊んだり、食事をしたりしています。ワインも好きです。
- ③ ラフマニノフのパガニーニの主題による狂詩曲です。この曲をエントリーできるコンクールは少ないですが、本当に素晴らしい曲です。22~23分の中で、とても多くの「変化」が起こる、構成的にとっても面白い曲だと思います。



### 37 フィリップ・ショイヒャーさん

オーストリア 1993年生

- ① オーケストラと一緒にピアノコンチェルトを弾けるのは、他のコンクールにはほとんどなく、貴重な機会だと思いました。また、世界中から来る出場者の皆さんと文化交流できると思ったからです。
- ② 色々沢山の事を楽しみますが、友達と会って会話を楽しんだり、映画を見たり、TVを見たりしています。自然が好きで、散歩もよくします。
- ③ プロコフィエフの3番を選びました。このコンチェルトは観客から見て、視覚的にも面白いところがあって、そこが傑作だと思います。だから演奏していて、とても楽しいのです。



### 9 カテリナ・ガラニチさん

ウクライナ 1995年生

- ① 日本に来ること、国際的に有名なコンクールに出場することが幼い頃からの夢で、一度挑戦したいと思っていました。
- ② ここところ、このコンクールのために毎日7~8時間、練習しているので時間がとれないのですが、ダンスと料理が好きです。
- ③ リストの1番を選びました。好きで得意な曲の一つです。ベートーヴェン、モーツァルトの練習に時間を費やすため、総合的に判断し、比較的演奏時間の短いリストに決めました。



### 33 ガビス・ライヒェルトさん スイス 1994年生

- ① 自作CDにこれまで受けたコンクールの経歴を書いていた時に、たまたま、側にあった「仙台のコンクールパンフレット」が目にとまり、ユニークな課題曲とピアノ協奏曲を演奏できる機会が得られるとことで挑戦してみる気になりました。
- ② オフに料理をすることが好きでよくやります。日本も料理が美味しい国だと聞いているので、日本料理を作ってみたくと思っています。
- ③ ブラムスの1番です。ブラムスの協奏曲はこれまでに会った最も美しい曲の一つで、演奏会などでは演奏したことが無いので、是非とも挑戦してみたいです。また、モーツァルトのG major がエントリーリストに入っていて、私が前に演奏したこともある曲なのでラッキーと思い、全力で挑戦するつもりです。



発行：第7回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ：仙台市民文化事業団 音楽振興課（仙台国際音楽コンクール事務局）

TEL: 022-727-1872 / e-mail: [info@simc.jp](mailto:info@simc.jp) URL: <https://www.simc.jp/>